

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	・全ての職員が事業所理念を理解し、実践できていない。	・事業所理念を職員全員が理解し、実践ができている。	・職員全員で事業所理念を作り上げる。 ・事業所理念の実践状況を会議等で話し合う。 ・職員間でのフォローを行う。	12ヶ月
2	9 10	・全ての職員がご利用者の思いやご意向を把握し、ケアできていない。	・各ご利用者の思いやご意向を尊重し、それに応えられる全職員の意識や行動ができている。	・カンファレンスにおいて、ご利用者の思いやご意向を抽出。どのようにすれば、実現できるかを要素に入れる。 ・介護計画へ反映させる。 ・職員間によるフォローを行う。	6ヶ月
3	2 3 4 6 7	・地域との交流があまりできていない。	・近隣住民の方より、当グループホームがどのような施設か理解されている。 ・また、防災等を含め協力体制が構築できている。	・近隣住民の方と見学会や交流会を開催する。 ・地域包括支援センターと協力し合い、オレンジカフェの定着させる。 ・地域の方が求める行事には積極的に参加する。 ・他事業者のグループホームとの交流を図る。	12ヶ月
4	5	・自施設では虐待や身体拘束がおきないとの思い込みがある。	・職員全員が虐待しない、させない意識付けや行動ができている。 ・職員全員が身体拘束の内容を理解し行動ができている。	・身体拘束や虐待についての勉強会を実施する。 ・他の施設で起きた虐待のケーススタディーを行う(特に何故、虐待が起きてしまったのか)。	6ヶ月
					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。